

# 第1回 葵が丘小学校運営協議会

日時 令和7年4月24日(木)

14:30~16:30

会場 葵が丘小学校 多目的室

## 〈次第〉

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 〈司会:教頭〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 新規委員任命書の交付 (机上配付)
- 4 学校運営協議会規則の確認(教頭)
- 5 自己紹介(各自)
- 6 前回の会議録の確認(教頭)
- 7 議長の選出(会長)
- 8 熟議 〈議長: 〉
  - (1) 学校運営の基本方針について(校長)→熟議により承認
  - (2) 葵が丘小学校いじめ防止基本方針について(校長)
  - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書及び「夢育やらまいかCS加算分」予算案について(教頭)
- 9 報告 〈司会:教頭〉
  - ・学校支援CDより
- 10 連絡 〈司会:教頭〉
  - (1) 参観会や行事の参加について(教務)
  - (2) 令和7年度自己評価表の作成について(教頭)
  - (3) さくら連絡網登録(閉会后 未登録者のみ)
  - (4) 次回以降の予定について(教頭)
    - 第2回 令和7年 6月20日(金) 15:00~16:30
    - 第3回 令和7年11月21日(金) 15:00~16:30
    - 第4回 令和8年 2月10日(火) 15:00~16:30



閉会

## 第1回 学校運営協議会出席者名簿

### 学校運営協議会委員

会長	小栗 則利
副会長	桐村 哲雄
委員 学校支援コーディネーター	見野 泰弘
委員	若松 由希野
委員	田村 都弥
委員	伊藤 謙吾
委員	柳澤 照美

### オブザーバー

北部協働センター	嶋田 哲也
----------	-------

### 学校支援コーディネーター

西原 真知
-------

### 学校

校長	小山 貴広
教頭	佐藤 明世
CS担当教職員	芹澤 純子
CSディレクター	村上 朝香

令和6年度 第4回 葵が丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 葵が丘小学校 南校舎1階 多目的室
- 3 出席委員 小栗 則利、桐村 哲雄、見野 泰弘、若松 由希野、田村 都弥、伊藤 謙吾
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 記録コーディネーター 西原 真知
- 7 学 校 島田 一孝（校長）、佐藤 明世（教頭）、芹澤 純子（CS担当職員）、村上 朝香（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 1名
- 9 会議録の作成者 CSディレクター 村上 朝香

10 議長の選出

小栗会長より、前回の会議上で年間を通して見野委員が務めることが提案され、全員異議なくこれを承認したため、予定通り見野委員が務めることになった。

11 協議事項

(1) 学校関係者評価について

- ・ 児童、保護者、職員等の学校評価結果を受けて
- ・ 次年度運営の基本方針について
- ・ いじめ防止等のための基本方針について

(2) 学校運営協議会の自己評価について

(3) 夢育やらまいかCS加算分の報告

12 会議記録

司会の佐藤教頭から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

○ 熟議

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき学校関係者評価についての説明、校長から別紙資料に基づき次年度運営の基本方針及び、いじめ防止等のための基本方針についての説明があり、委員から以下の発言があった。

◆ 体力低下について

- ・ 以前の会議で説明を受けたように、葵が丘小の児童は全国平均からすると、それほど低いわけではない。公園でも多くの児童が遊んでいる姿をよく見かける。あまり気にする必要はないのではないか。（小栗会長）  
→ 葵が丘地域は他の地域に比べ、屋外で遊んでいる子供が多いと感じる。ただ、身体を動かすことが好きな児童とそうではない児童との二極化が進んでいるように思う。（島田校長）

- ・ 幼稚園では体力作りのために実施していることはあるか。(小栗会長)
  - 現在体力テストは実施していないが、子供たちの活動量を増やすため、遊具の配置を工夫している。(田村委員)
  - 遊具も昔に比べると、使用禁止になったものが多い。ますます子供の体力が低下するのではないか。(小栗会長)
- ・ 朝と下校時の校庭の使い方はどのようになっているのか。けが等の対応はどうしているのか。(田村委員)
  - 7:30~7:50の間に登校するようになっており、7:50までは校庭遊びを可としている。放課後は一度自宅に帰宅したあと、校庭で遊ぶことを許可している。(島田校長)
  - けがをした際は、職員室に子供が来ることがある。その場合、養護教諭が対応することもある。(佐藤教頭)
- ・ 20分休みや昼休みはどうか。校庭で遊んでいる子供が多いように感じるが、実際どうか。(見野委員)
  - 校庭で遊ぶ児童もいれば、教室や図書室で過ごす児童もいる。学年ごとにサッカーゴールを使用できる日が決まっているので、その日は校庭で遊ぶ子供が多い。(島田校長)
- ・ 体力を図るベースは何になるのか。時代ともにスポーツの種類も内容も変化している。何を基準として体力を測定するのか。(桐村副会長)
  - 小学校では年に一回体力テストがある。25年ほど前に種目が変わった。その種目を基準として体力を図っている。(芹澤先生)
  - 投力は低下している。(島田校長)
  - ボール投げの結果は、低学年は低い傾向にある。“跳ばず”という感覚が備わっていないように感じる。(芹澤先生)
  - 小さいころから投げるという行為をしていれば備わるように思うが、投げ方すら分からない子供が増えているのだろうか。(桐村副会長)
  - キャッチボールをしている児童をあまり見かけない。遊び方も変化しているように感じる。(小栗会長)
- ◆ 懇談会の参加率について
  - ・ 現在は共働き世帯も増えている。懇談会への参加は難しいのか。(小栗会長)
    - 前回の参観会の参加率は全体で8割。懇談会は低学年3割、中学年1.5割、高学年3割、全体で2.5割。参観会後は、子供と一緒に帰りたい保護者も多く、開催が困難な状況もある。(芹澤先生)
    - 実際、懇談会を中止した学校も多い。(島田校長)
  - ・ 先生方は懇談会で保護者と対話をしたいのか。(見野委員)
    - 保護者と教師が良い関係性を築いてほしいという思いがある。その方法が懇談会でなくても良いのだから、その手段の一つとして機能してほしいと感じる。(島田校長)
    - 先生や保護者と話をしたい親はたくさんいるように感じる。(伊藤委員)

- 懇談会は必ず出席している。学校での子供の様子を知ることができるし、保護者とも知り合えるきっかけになるので、とても大切だと感じる。ただ参観会のあとに懇談会を実施すると低学年の保護者の参加は難しいように思う。  
(西原コーディネーター)
- ・ 学校に興味を持っていただけるように教員も尽力していかなければならないと感じる。そのために何が必要か、ご意見をいただきたい。(佐藤教頭)
- 低学年の保護者は我が子のことはもちろん、学校の雰囲気を知りたいと感じているのではないかと。また高学年は、中学入学に関する情報を知りたい保護者が多いと思う。中学年が少ないのではないかと。各学年の状況に合わせた参観・懇談会を実施してはどうか。(小栗会長)
- 実際、中学年の参加率が低い。親子で話を聞くような機会など、子供とともに参加できるような内容を考えていきたい。(芹澤先生)
- 今年度は1年生の保護者向けに家庭教育講座を3回実施した。そのような講座を中学年対象に実施していけたらと思う。(島田校長)
- 家庭教育講座だが、大変充実した内容だった。参加者が少なく残念に感じた。  
(見野委員)
- 教育講座の動画配信をしてはどうか。(鈴木オブザーバー)
- 告知をもう少し頻繁に実施したら良かったのではないかと。さくら連絡網等で案内されてはいるが、情報を逃してしまう保護者も多くいる。紙面や直前での再告知をすることで参加率が高まると思う。また、1年生の保護者だけでなく全保護者に案内を出してはどうか。(西原コーディネーター)
- 昨年度の参加者の感想を案内に載せたら、参加率が高まるのではないかと。告知の工夫も必要だと感じる。(田村委員)

## (2) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、会長と教頭から別紙資料に基づき、学校運営協議会の自己評価について説明があった。

## (3) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

議長の指示により、教頭から夢育やらまいかCS加算分の報告について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれに賛同した。

### ◇ その他報告事項等

- ・ 学校支援コーディネーターから活動の報告があった。

### ◇ その他連絡事項等

- ・ 司会から、来年度の新委員と学校運営協議会の開催日時について説明があった。



# 令和7年度 浜松市立葵が丘小学校 グランドデザイン

## はままつの教育

<第4次浜松市教育総合計画>

『描く・夢や未来の実現』

- ・自分らしさを大切にすることも
- ・他者と協働し、主体的に行動できることも
- ・自己調整しながら粘り強く取り組むことも

## 学校教育目標

### 未来にかがやく！あおいっ子

#### あおいっ子宣言

- ① **いさつは こころをこめて**  
だれとでも、明るく心のこもったあいさつをします
- ② **もいやりあふれる**  
人への思いやり、助け合い、ゆずり合いの気持ちを大切にします
- ③ **いっしょうけんめいやりぬく**  
強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組みます

## 開成中学校区で目指す子供の姿

- 正しい判断ができる人
- 地域を愛する人
- 自分や周りの人を大切にする人



## 学校経営の重点 主体性の育成 ～感じ・考え・行動する子～

### 役割を自ら見出して関わり、子供が自分らしい生き方を実現していくことを目指した学校運営【キャリア教育の推進】

学校、教室、地域、家庭等、様々な場で子供は自分の**役割**を見出し、それにコミットすることを通して子供たちは、「夢と希望」、「資質・能力」「自分らしさ」を育んでいきます。

教師は、一人一人の子供が**役割**を実感できるように支援します。「ていねい・あったか・あんしん」を合言葉に、常に子供に愛情を注ぎ、子供を最大限に成長させるために情熱をもって指導します。そして、そのための自己改革を怠りません。



## 質の高い学習・生活の実現

## 本年度の挑戦

主体的・対話的で深い学びの実現

### 学習

【考える楽しさ、分かるうれしさを味わわせる授業づくり】

- ・「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を意識し、子供たちの学ぶ意欲を引き出す単元構想や課題設定を工夫する。
- ・課題を明確にもち、他者と対話し課題解決する授業を実践する。

【地域に開かれた学びの推進と外部人材の活用】

- ・主体的に学ぶ児童を育成するために、地域に出て体験活動をしたり、地域の人材から学んだりして、地域の教育力を生かした活動を推進する。

### 生活

【安心して自分を表現でき、自分らしさを育む取組】

- ・子供が安心して活動できるようにするために、子供同士の関係作りに取り組む。葵グループでの活動や学級での活動（葵遊びや葵清掃、ピアタイムなど）を通して、自他の違いや相手との関わり方を学ばせ、思いやりや助け合いの心、寛容さを育む。

【子供がよりよい生活を思い描いた取組】

- ・委員会や学級でみんなが楽しめるイベントを実施する。
- ・委員会や学級、有志による葵チャレンジを実施する。
- ・子供がきれいにしたいところを掃除するびかびか清掃を実施する。

みんなが笑顔になる生活の創造

## 基盤整備・サポート整備

## 本年度の挑戦

### 学校

【ICT活用研修】

- ・校務の効率化や授業での活用に結び付く研修
- ・クラウドを活用した会議

【授業改善研修】

- ・学年団での提案型授業実践

【教職員の働き方改革】

- ・時間外勤務月45時間以内

### 地域とともにある学校づくりの推進

#### 学校運営協議会

- ・主体性の育成に結び付くあおいっ子スマイルサポーターの活用
- ・地域等における体験活動、探究活動の充実のための人・場所の拡充

### 地域、保護者

【PTA活動】

- ・PTA活動の見直し・精選
- ・地域とPTAとの連携による学校行事及び学習活動の支援の活性化

【地域との連携】

- ・地域行事等における児童ボランティア等の主体的参加

実践的指導力の向上

地域での子供の活躍



## 1 学校経営の基本方針

### (1) 第4次浜松市教育総合計画

「描く夢や未来の実現」を基本理念とした第4次浜松市教育総合計画の初年度である。また、この第4次浜松市教育総合計画は、「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」をキーワード・コンセプトとしている。いずれも本校で大切にしてきたことである。特に「主体性」は本校の重点として育成を目指していることであり、引き続き、「主体性の育成 ～感じ・考え・行動する子～」を目指して学校経営を推進する。

### (2) 中学校区で目指す子供の姿

中学校区で目指す子供の姿を共通理解し、学校教育目標「未来にかがやく！あおいっ子」の具現化を図るため、本校で目指す子供の姿を掲げ「あおいっ子宣言」を念頭に置いて、子供が『自分らしい生き方』を実現していくことを目指した学校運営を推進する。

#### 【中学校区で目指す子供の姿】

- 正しい判断ができる人
- 地域を愛する人
- 自分や周りの人を大切にする人

### (3) 学校経営の重点

#### 主体性の育成 ～感じ・考え・行動する子～

#### 【「学校経営の重点」の設定理由】

本校の子供は、明るく、元気で、人懐っこく、与えられた役割を責任もって行うことができる。特に高学年が下級生を思いやり、しっかり面倒を見たり、リーダーシップを発揮して行事を盛り上げたりする姿は、葵が丘小の大きな強みである。委員会活動においても、進んで活動する姿が見られる。そして、高学年を慕い、それらの活動に協力しようとする下級生の存在も大きい。

しかし、令和5年度の時点で、それが主体的なものであったかと問われると疑問であった。指示待ちであったり、易きに流されたりする姿も見受けられた。このような課題から、令和6年度より『主体性の育成 ～感じ・考え・行動する子～』を「学校経営の重点」として取り組んできた。

まずやってみる、試してみる、関わってみる。一步を踏み出せる子供を育てたい。そして、感じ、考え、行動できる子供を育てたい。子供一人一人がよりよい自分、よりよい生活を思い描き、それに向かって自らの意思で行動を起こし、自分の理想に近づいていってほしい。そして、みんなでよりよい姿を追い求める雰囲気学校全体に築いてほしいと願うのである。

## 2 学校教育目標

未来にかがやく！あおいっ子

### 【あおいっ子宣言】

☆だれとでも明るく心のこもったあいさつをします。

☆人への思いやり・助け合い・ゆずり合いの気持ちを大切にします。

☆強い心を持ち、どんなことにも全力で取り組みます。

※「あおいっ子宣言」とは、葵が丘小学校の誇りを胸に、子供たち自身が「こうありたい」と夢見る姿を「子供の言葉」で表した「あおいっ子の精神」につながる宣言文。

※「あおい」に込められた子供の姿

あいさつは 心を込めて おもいやり あふれる いっしょうけんめい やりぬく

## 3 目指す子供の姿

学校、教室、地域、家庭等、様々な場で子供は自分の役割を見出し、それにコミットすることを通して、子供たちは「夢と希望」「資質・能力」「自分らしさ」を育てていく。

### 【これからの社会を生き抜くための「資質・能力」】

#### <人とかかわる力>

- ・他者の個性を理解する力
- ・コミュニケーションスキル
- ・チームワーク、リーダーシップ

#### <自分を見つめる力>

- ・自己の役割理解
- ・前向きに考える力、動機付け
- ・忍耐力、主体性

#### <課題を解決する力>

- ・課題発見、計画立案、実行力
- ・情報の理解・選択・処理能力
- ・評価と改善

#### <未来につなげる力>

- ・学ぶこと・働くことの意識、役割の理解
- ・多様な生き方の理解
- ・選択・行動・軌道修正する力

## 4 目指す教職員の姿

教師は、一人一人の子供が役割を実感できるように支援する。「ていねい・あったか・あんしん」を合言葉に、常に子供に愛情を注ぎ、子供を最大限に成長させるために情熱をもって指導する。そして、そのために自己改革を怠らない。

### 子供があこがれる先生

#### ○人間味あふれる教職員（人間力）

- ・夢や希望を語り、子供の声に耳を傾け後押しできる情熱あふれる教職員
- ・よさを認める言葉や過ちを諭す言葉を大切にして、子供をやる気・その気にさせる教職員

#### ○子供理解に努める教職員（生徒指導力）

- ・どの子供にも温かなまなざしや声掛け、愛情をもって指導、支援等を行い、信頼される教職員
- ・子供のよりよい成長のため、連携して対応する組織力を発揮できる教職員

#### ○自己改革に励む教職員（授業力）

- ・「分かる授業・楽しい授業」を実現するために努力を惜しまない教職員
- ・学習習慣と学習規律の大切さを伝えながら、子供と共に学ぶ姿勢をもつ教職員

## 5 目指す地域の姿

地域と学校は、目標やビジョンを共有し、子供たちの成長のために、協働しながら一人一人の子供が役割をもって活躍できるよう連携していく。

○地域に開かれた学びの推進と「学ぼうふるさと」学習の充実

- ・コミュニティ・スクールを推進し、地域に出て体験活動をしたり、地域の人材から学んだりして、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

○地域とPTAとの連携及び学校への支援体制の整備

- ・学校支援コーディネーターを中心に、子供の教育活動がより充実するような支援体制（あおいっ子スマイルサポーター）を整える。
- ・地域や保護者による学習及び学校行事等のサポーターを募り、子供の教育活動の充実を図る。

## 6 学校経営の具現化

### (1) 教職員の心得

ていねい あったか あんしん

### (2) 方策

◎「確かな学力を育む」ために：確かな学力育成プラン

○考える楽しさ、分かるうれしさを味わわせる授業づくり

- ・「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を意識し、子供たちの学ぶ意欲を引き出す単元構想や課題設定を工夫する。

○地域に開かれた学びの推進と外部人材の活用

- ・主体的に学ぶ児童を育成するために、地域に出て体験活動をしたり、地域の人材から学んだりして、地域の教育力を生かした活動を推進する。

◎「夢や希望を育む」ために：心の育成プラン

○安心して自分を表現でき、自分らしさを育む取組

- ・子供が安心して活動できるようにするために、子供同士の関係作りに取り組む。葵グループでの活動や学級での活動（葵遊びや葵清掃、ピアタイムなど）を通して、自他の違いや相手との関わり方を学ばせ、思いやりや助け合いの心、寛容さを育む

○子供がよりよい生活を思い描いた取組

- ・委員会や学級でみんなが楽しめるイベントを実施する。
- ・子供がきれいにしたいところを掃除するぴかぴか清掃を実施する。

◎「健康・安全を育む」ために：健康・安全育成プラン

○授業や体育的活動の充実

- ・体育科の授業では、チームや個人の課題を明確にさせ、課題解決に向けて対話する場面を設け、主体的に活動に取り組めるようにする。

○子供がよりよい生活を思い描いた取組

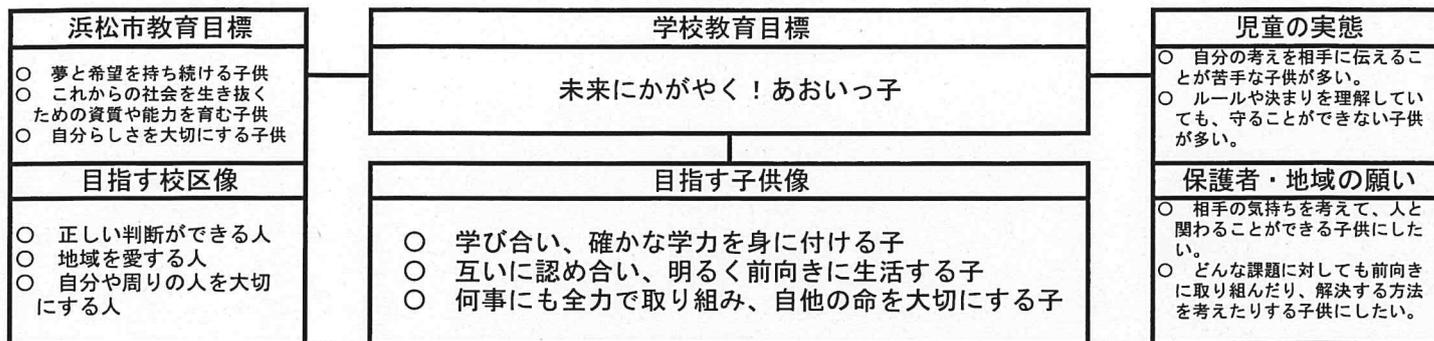
- ・委員会や学級、有志による葵チャレンジを実施する。

# 令和7年度日課表

浜松市立葵が丘小学校

月	火	水	木	金	特日課	特日課 給食なし
8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会	8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会	8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会	8:00~8:20 朝読書・保健指導 朝の会	8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会	8:00~8:20 朝読書(10分程度) 朝の会	8:00~8:10 朝の会
8:20~9:05 1	8:20~9:05 1	8:20~9:05 1	8:20~9:05 1	8:20~9:05 1	8:20~9:05 1	8:10~ 8:55 1
9:15~10:00 2	9:15~10:00 2	9:15~10:00 2	9:15~10:00 2	9:15~10:00 2	9:15~10:00 2	9:05~ 9:50 2
20分休み	20分休み	20分休み	20分休み	20分休み	20分休み	10分休み
10:20~11:05 3	10:20~11:05 3	10:20~11:05 3	10:20~11:05 3	10:20~11:05 3	10:20~11:05 3	10:00~ 10:45 3
11:15~12:00 4	11:15~12:00 4	11:15~12:00 4	11:15~12:00 4	11:15~12:00 4	11:15~12:00 4	10:55~ 11:40 4 帰りの会含む
12:00~12:45 給食	12:00~12:45 給食	12:00~12:45 給食	12:00~12:45 給食	12:00~12:45 給食	12:00~12:45 給食	11:50 下校
12:45~13:15 ロング昼休み 1年13:00~13:10 帰りの会 1年 13:10下校	12:45~13:05 昼休み 13:05~13:15 清掃 移動	12:45~13:15 ロング昼休み 移動	12:45~13:05 昼休み 13:05~13:15 清掃 移動	12:45~13:15 ロング昼休み 移動	12:45~13:15 ロング昼休み 移動	12:50~13:00 帰りの会 下校 13:00 13:05~13:50 5
13:25~14:10 5	13:25~14:10 5	13:25~14:10 5	13:25~14:10 5	13:25~14:10 5	13:25~14:10 5	13:55下校 14:00~14:45 6
14:15~14:25 帰りの会	14:15~14:25 帰りの会	14:15~14:25 帰りの会	14:15~14:25 帰りの会	14:15~14:25 帰りの会	14:15~14:25 帰りの会	14:50下校
14:20~15:05 6	14:20~15:05 6		14:20~15:05 6	14:20~15:05 6	14:20~15:05 6	委員会活動(特5) 14:00~14:45 下校14:50 クラブ活動(特4水曜日) 13:10~14:10 下校14:15
15:10~15:20 帰りの会 2年 14:25下校 3年以上 15:20下校	15:10~15:20 帰りの会 1・2年 14:25下校 3年以上 15:20下校	14:25下校	15:10~15:20 帰りの会 1・2年 14:25下校 3年以上 15:20下校	15:10~15:20 帰りの会 1~3年 14:25下校 4年以上 15:20下校	15:10~15:20 帰りの会	特5 13:55下校 特6 14:50下校
持参 ・上靴 ・給食白衣 ・赤白帽子				持ち帰り ・上靴 ・給食白衣 ・赤白帽子		

# 葵が丘小学校 キャリア教育全体計画



本校のキャリア教育の全体目標			
人との触れ合いを通して、よりよい人間関係を築き、夢や希望を持って生活しようとする態度や意欲を育てる。			
育成すべき能力や態度(基礎的・汎用的能力)			
人とかかわる力 (人間関係形成・社会形成能力)	自分を見つめる力 (自己理解・自己管理能力)	課題を解決する力 (課題対応能力)	未来につなげる力 (キャリアプランニング能力)
○ 他者の個性を理解する力 ○ コミュニケーションスキル ○ チームワーク、リーダーシップ	○ 自己の役割理解 ○ 前向きに考える力、動機付け ○ 忍耐力、主体性	○ 課題発見、計画立案、実行力 ○ 情報の理解・選択・処理能力 ○ 評価と改善	○ 学ぶこと、働くことの意識・役割の理解 ○ 多様な生き方の理解 ○ 選択・行動、軌道修正する力

各学年の重点目標	
低学年	○ 友達の気持ちを考えて関わろうとすることができる。 ○ 自分の好きなことを見付け、得意なことを増やすことができる。 ○ 学習の基礎基本を身に付け、めあてをもって活動に取り組むことができる。 ○ 学習や当番、係活動などの必要性や大切さに気付くことができる。
中学年	○ 友達の気持ちを大切にすることができる。 ○ 自分のよさや伸びを見つけ、自分らしさを生かして行動することができる。 ○ 学習の仕方を身に付け、自分なりのめあてをもって課題に取り組むことができる。 ○ 学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、自分にできることを考えることができる。
高学年	○ 友達の気持ちや考えを理解して関わり合うことができる。 ○ 自分の長所や短所を見つめ、自分を高めようとする目標をもって生活することができる。 ○ 進んで課題を見つけ、計画を立て、解決に取り組むことができる。 ○ 社会における様々な生き方を理解し、自分らしい生き方について考えることができる。

教科・領域等における指導内容						
各教科	道徳	特別活動		総合的な学習	その他	
		学級活動	学校行事	クラブ活動		
○ 学習の基礎基本を身に付け、学ぶ意欲を高める。 ○ 体験的な学習や問題解決的な学習を通して、学習課題を設定し課題解決をする能力を育てる。 ○ 意見を聞き合い、学び合う態度を育てる。	○ よりよい生活習慣を身に付け、きまりを守ろうとする態度を養う。 ○ 思いやりの心を持ち、互いに信頼し協力し合おうとする態度を養う。 ○ 働くことの意義を理解し、奉仕する喜びを知り、社会に役立とうとする態度を養う。	○ 学級や学校生活の向上、健全な生活態度の育成を図る。 ○ 学級の一員として自分の果たす役割の認識を深める。 ○ 個人や学級の課題に対し、意見を出し合い解決する力を育てる。	○ 体験的な活動を行い、学級や学校への所属感を高める。 ○ 集団生活における望ましい態度やよりよい生活態度を育てる。 ○ 学習の成果を発揮し、学校生活に充実感と達成感を持たせる。	○ 共通の目的意識を持って、自発的・計画的に活動することの達成感を味わわせる。 ○ 地域の人材・素材等を活用しながら社会性を高める。 ○ 個性の伸長と人間関係の大切さを学ばせる。	○ 自然体験や社会体験を通じて豊かな感性と表現力を育てる。 ○ 進んで人と関わり、コミュニケーション能力を高める。 ○ 自ら学ぶ意欲と課題を見付け追求し、やり遂げようとする態度を育てる。	○ 縦割り活動を通して、異学年同士の関わりと働くことの意義を学ばせる。 ○ 外国語科や外国語活動を通して日本と外国の言語や文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 ○ 社会教育施設や地域の施設を活用し体験的活動を充実させる。

※キャリアパスポート  
 学習、行事、体験活動などに対する活動内容の記録や振り返りを行い、ファイルにまとめていく。  
 一年間の振り返りや六年間の振り返りを行い、次の学年や学校に向けた希望や夢を持たせていく。

令和7年度

浜松市立葵が丘小学校 校内研修構想



学校教育目標

未来にかがやく！あおいっ子

重点目標

主体性の育成 ～感じ・考え・行動する子～

研究テーマ

主体的・対話的で深い学びを  
実現するための授業改善  
～子供自らが課題を設定し、解決する学びを目指して～



# 授業改善



子供たちの学ぶ意欲を引き出す単元構想・課題解決的な授業構想

- 〈主体的な学びを実現するための工夫〉
- ・ 課題設定の工夫
  - ・ 見通しの持ち方の工夫

- 〈対話的な学びを実現するための工夫〉
- ・ 学び合う場面の設定の工夫
  - ・ 板書や発問により学びを引き出す工夫

- 〈深い学びを実現するための工夫〉
- ・ 単元計画及び各時間の計画の構成の工夫
  - ・ キャリア目標との関連性

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」



## 「学ぼう！ふるさと葵が丘」の活用

学年	教科	単元名	学ぼう！ふるさと葵が丘	ページ
1年	生活科	「なつがやってきた」「いきものとなかよし」 「たのしい あき いっぱい」	「緑のネットワーク」	p10・11
2年	生活科	「どきどきわくわくまちたんけん」	「高丘葵地区のまちなみ」 「緑のネットワーク」 「高丘葵地区のモニュメント」	p8・9 p10・11 p12・13
2年	生活科	「もつとなかよしまちたんけん」	「2年 生活」の活動	p23
3年	総合	「すてきだよ ぼくらの町」	「校歌からの学校の歴史」 「葵が丘の歴史年表」 「児童数の移り変わり」 「高丘葵地区のまちなみ」 「緑のネットワーク」 「高丘葵地区のモニュメント」 「今の地図・昭和37年の地図」 「地域を学ぶ」	p2・3 p4・5 p6・7 p8・9 p10・11 p12・13 p14・15 p22・23
3年	社会科	「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」	「戦後の開拓の歴史」	p16・17 p18・19
4年	社会科	「きょう土の伝統・文化と先人たち」	「戦後の開拓の歴史」	p16・17 p18・19
5年	総合	「未来を想像しよう～より良い暮らしのために～」	「葵が丘小の環境施設」	p20・21
5年	社会科	「環境を守るわたしたち」	「葵が丘小の環境施設」	p20・21
6年	社会科	日本史のいろいろな場面で	「葵が丘の歴史年表」	p4・5
あおい 生活単元		「みんなで公園へ行こう」	「緑のネットワーク」	p10・11
あおい 3年	社会科	「学校のまわり」	「今の地図・昭和37年の地図」	p14・15
あおい 3年	社会科	「昔の道具」	「戦後の開拓の歴史」	p16・17 p18・19